

# オルガノ株式会社

## 2008年3月期中間決算説明会

(2007年11月12日 16 : 00～17:30)

### 【スピーカー】

代表取締役社長

橋本 喜代志

取締役兼常務執行役員

田中 康彦

## 企業コンセプト “*Ecologically Clean*”

### 企業理念

#### オルガノの存在意義

“心”と“技”で水の価値を創造し、  
かけがいのない地球環境の未来に貢献する

### 経営理念

#### 経営の基本方針

+儲けるぞ!

- ・ お客様にとって、最適な商品・技術・サービスを創造し、提供し続ける企業を目指す
- ・ 株主様にとって、常に成長し、安定収益をあげる魅力的な企業を目指す
- ・ 社員にとって、働き甲斐のあり、誇りの持てる企業を目指す

## ◎2008年3月期 中間決算概況と通期業績見込

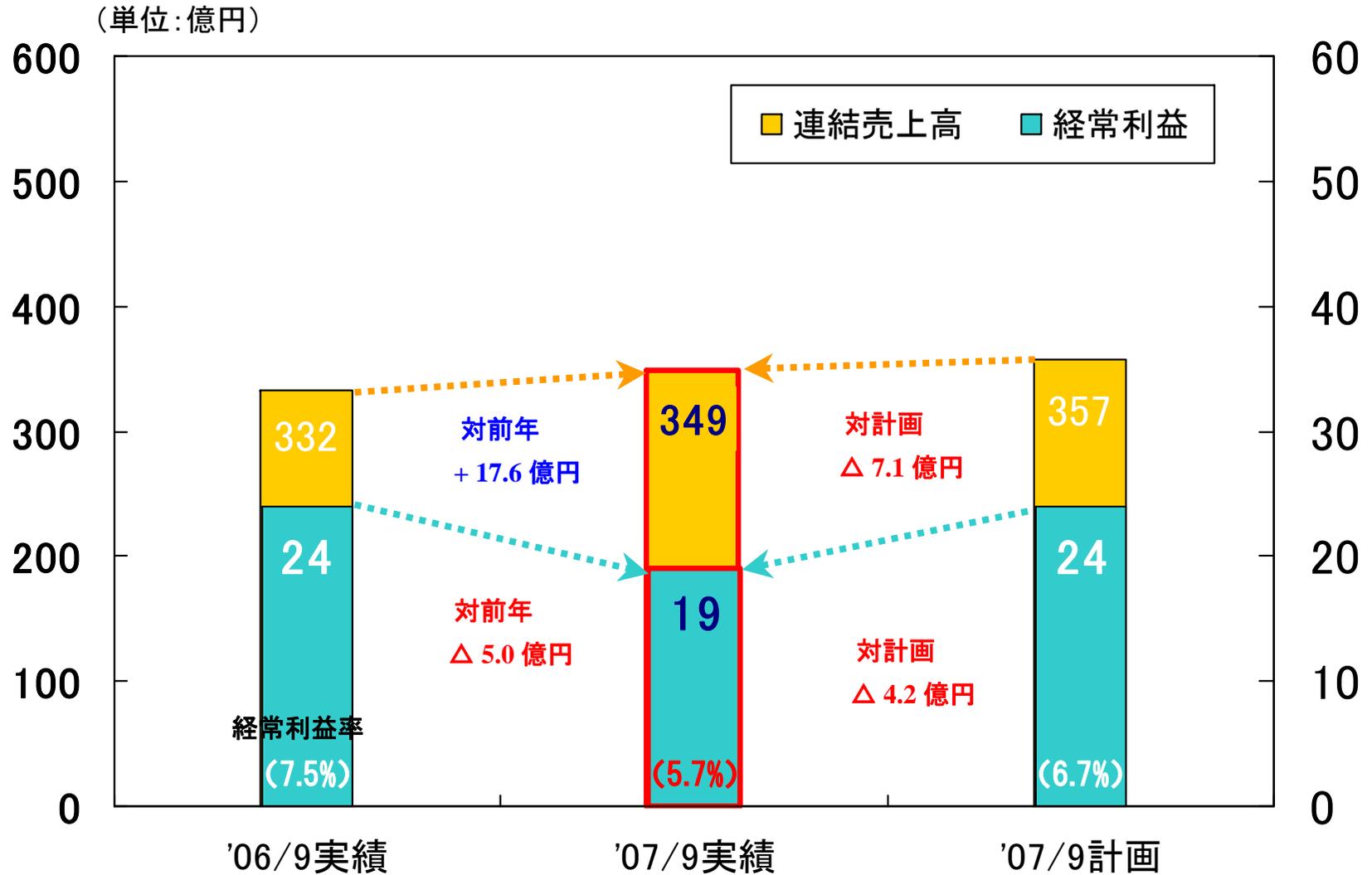
過去最高益を達成した前期決算を踏まえ、中期的な成長を目指すファーストステップとして計画を策定



### 《期初計画修正の要因》

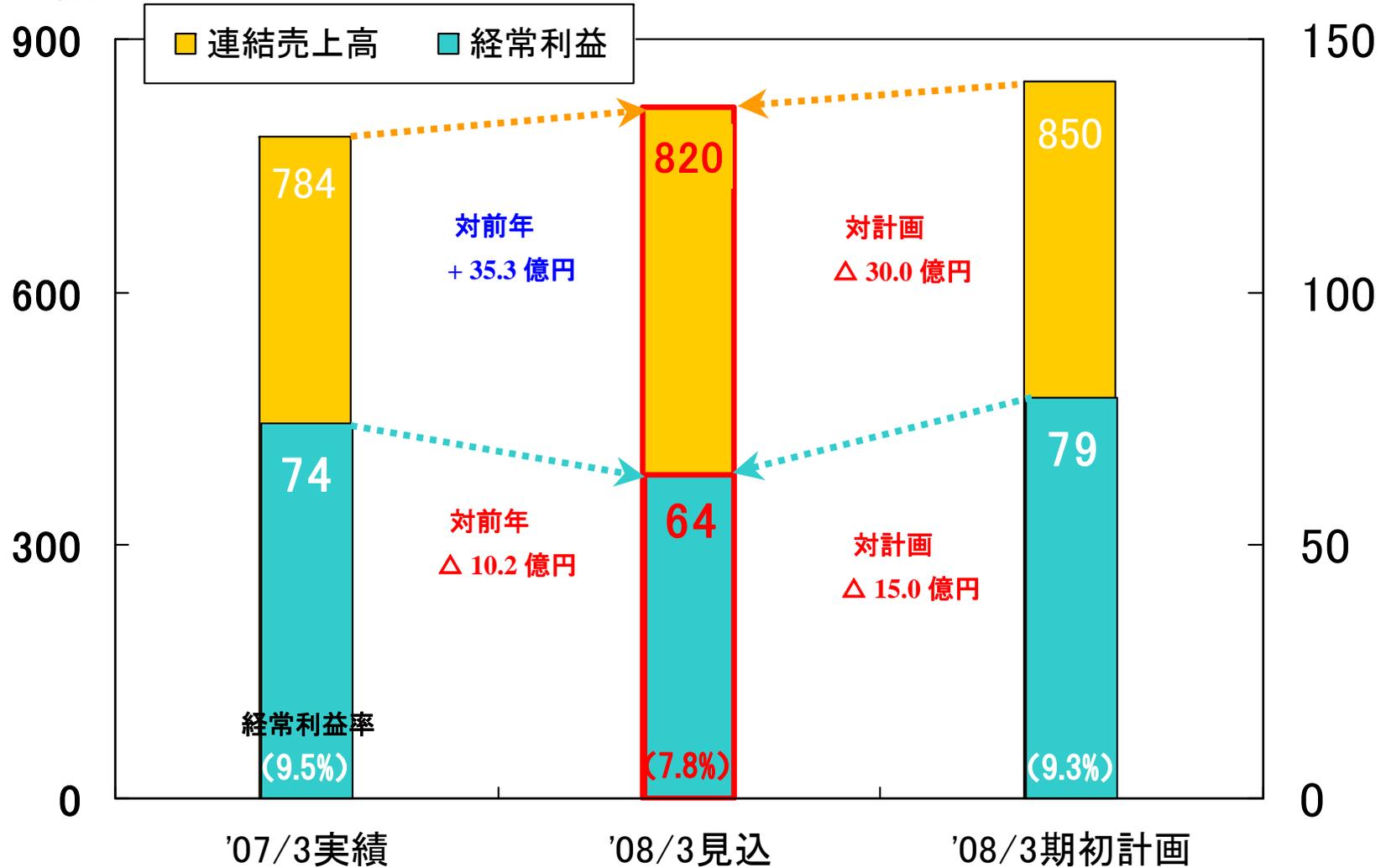
- 大型設備投資の一服感、一部計画の延期
- 受注競争の激化
- 中越沖地震の電力分野への影響
- 商品ラインナップの見直し etc...

# 2008年3月期中間決算概況

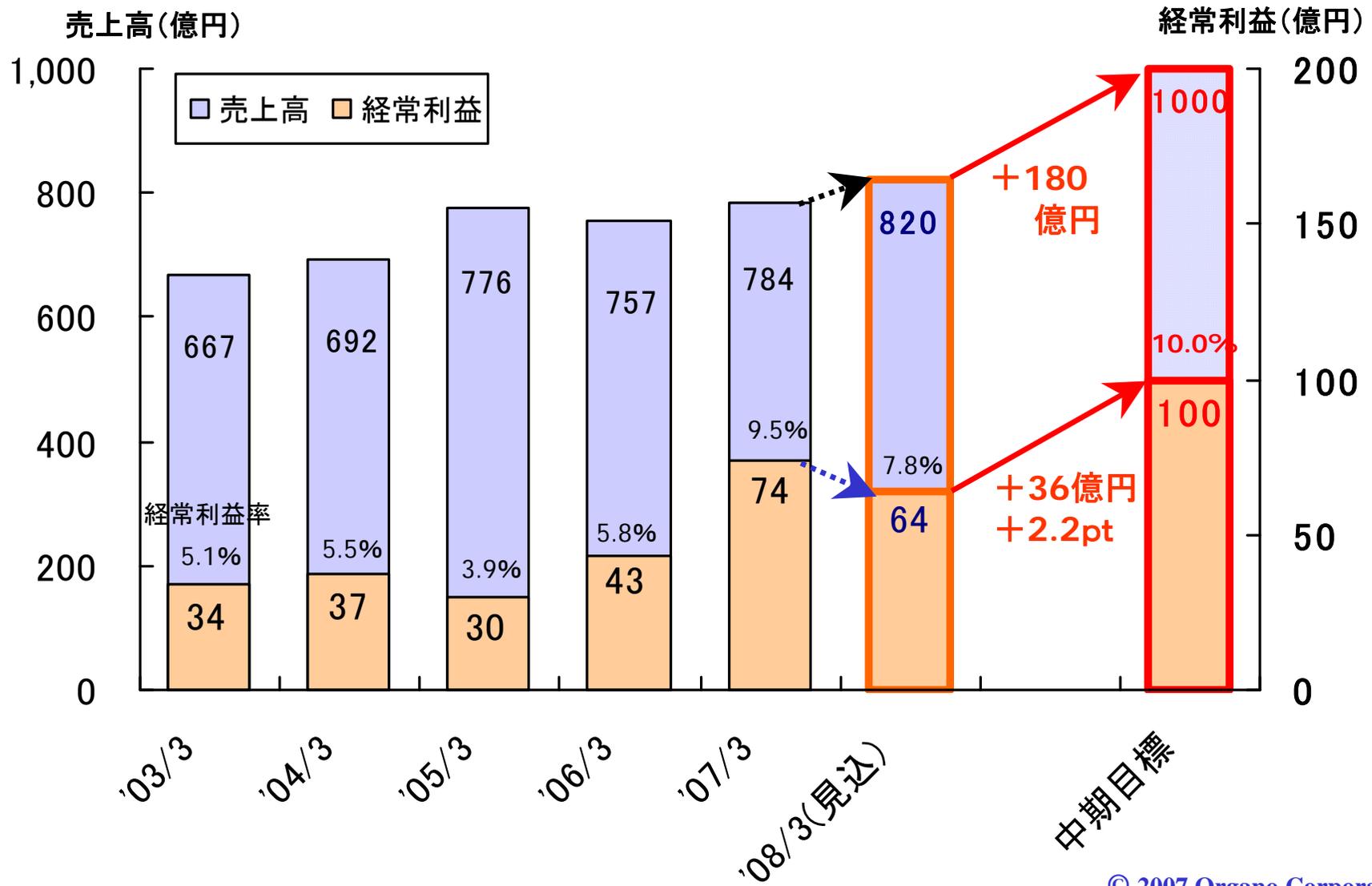


# 2008年3月期期末業績見込概況

(単位: 億円)



# 連結売上高・経常利益率推移



## 中期経営目標

### 「成長への新たな挑戦」

連結売上高1,000億円／経常利益100億円の達成

#### 《基本戦略》

(1) プラント・ソリューション・機能商品

3事業のシナジー強化、拡大

(2) 新技術・新商品の開発と継続的な

品質・コスト競争力の向上

(3) 経営・事業基盤の強化

# 中期市場動向／重点施策

事業	市場	国内		海外	
		市場動向	重点施策	市場動向	重点施策
電子産業・一般産業	プラント事業	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代洗浄技術開発</li> <li>・排水、回収技術強化</li> <li>・コストダウン</li> <li>・営業体制強化</li> </ul>	↗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外拠点の強化</li> <li>・蘇州工場の機能強化</li> <li>・サプライチェーンの構築</li> </ul>
	ソリューション事業	↗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトソーシング事業拡大</li> <li>・ソリューションサービス強化</li> </ul>	↗	
	機能商品事業	↗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラインナップの強化</li> </ul>	↗	
官電 公力 需／	プラント／ソリューション ／機能商品	↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソリューション活動強化</li> <li>・着実な受注確保</li> </ul>	↗	

# 2008年3月期 中間決算報告 及び2008年3月期 業績予想

2007年11月12日  
取締役兼常務執行役員  
田中 康彦

# 連結対象グループ会社



## 2008年3月期中間<<概況>>

---

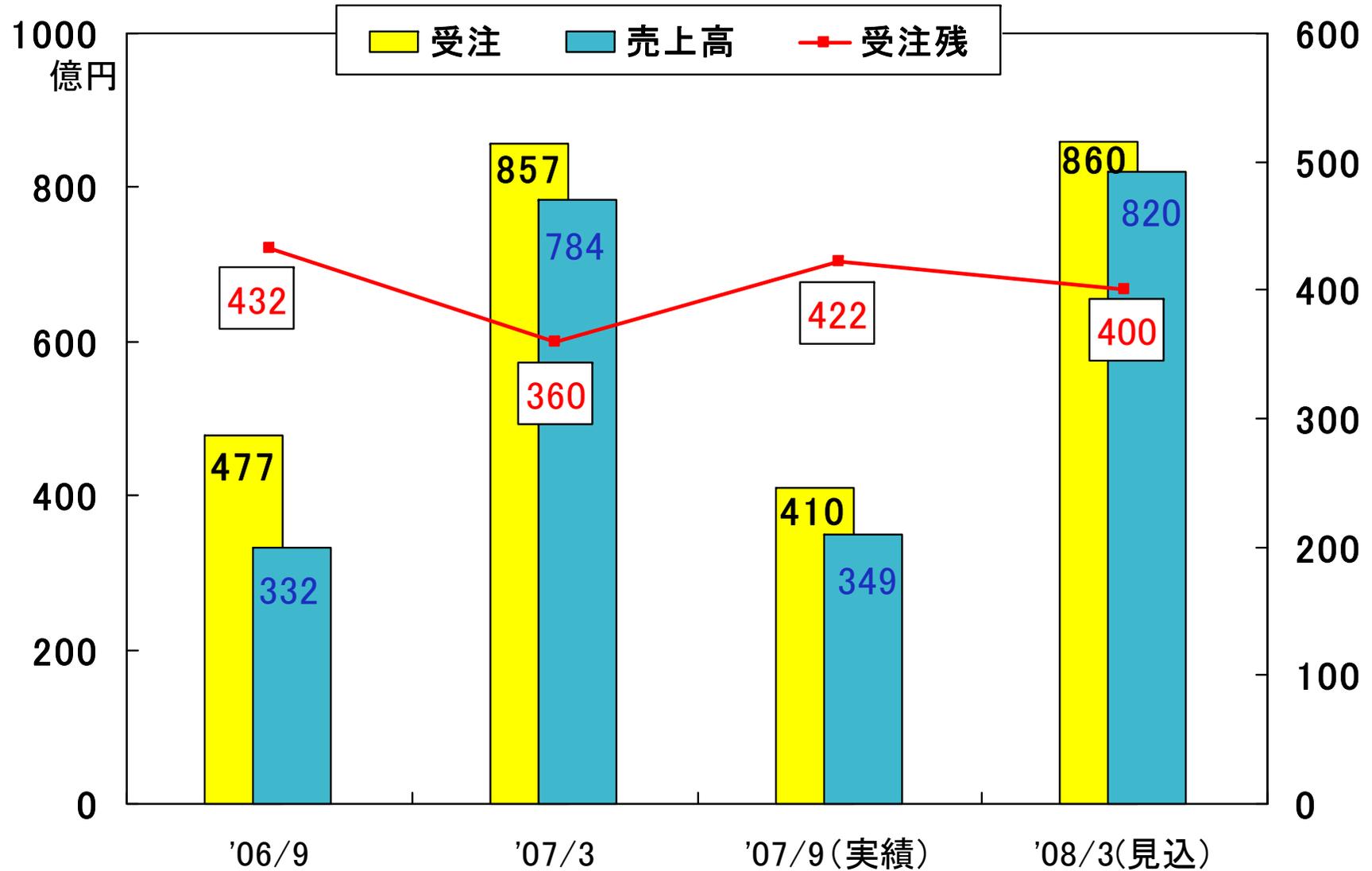
- ◎電子・一般産業分野で大型設備投資の一服感、  
計画延期等が発生、受注競争は激化傾向
- ◎電力分野では中越沖地震等の影響により  
計画延期等が発生
- ◎海外事業の伸張による売上拡大
- ◎地域統合の本格的スタート
- ◎固定費の増加

## 2008年3月期中間／決算状況

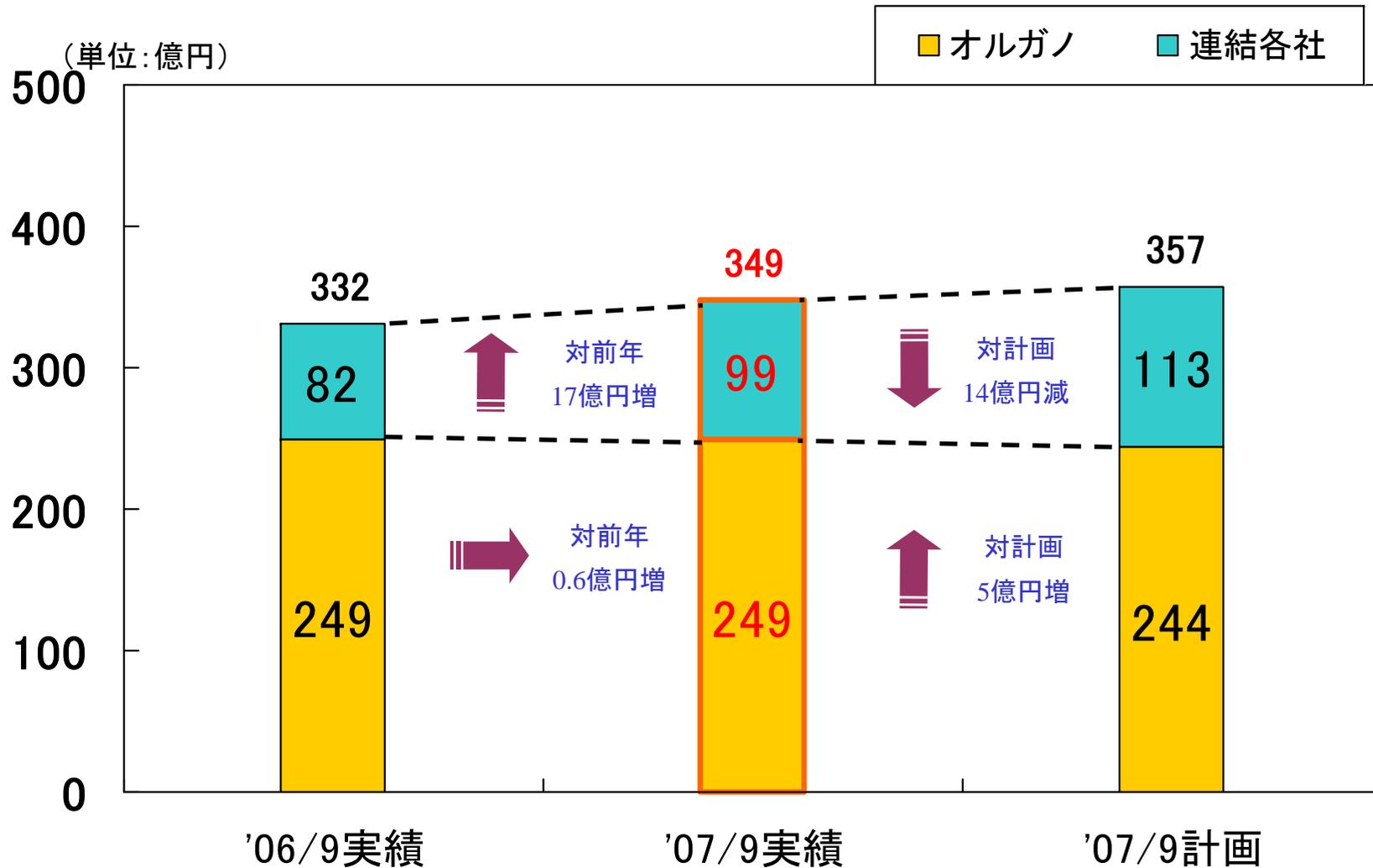
(単位:億円)

	06.9	07.9		前期比	計画比
	実績	計画	上期実績		
受注高	477	435	410	△ 67	△ 25
売上高	332	357	349	+ 17	△ 8
売上総利益 (%)	94	97	90	△ 4	△ 7
	28.5%	27.2%	26.0%	-2.5%	-1.2%
販管費	69	72	70	△ 1	+2
営業利益	25	25	19	△ 6	△ 6
経常利益 (%)	24	24	19	△ 5	△ 5
	7.5%	6.7%	5.7%	-1.8%	-1.0%
当期純利益	14	14	10	△ 4	△ 4

## 受注高・売上高・受注残高推移(連結)

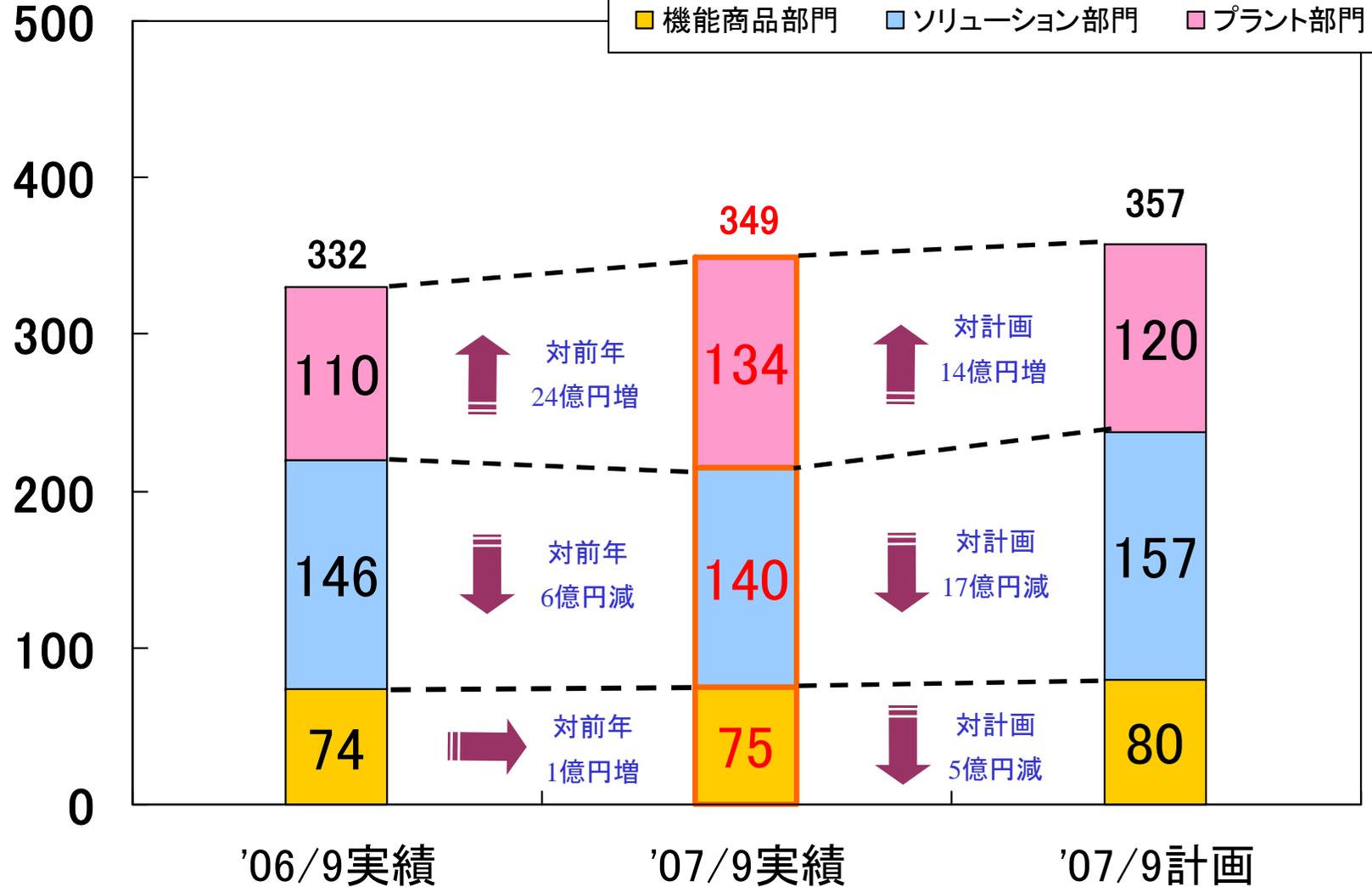


## 08年3月期中間／売上高分析(会社別)

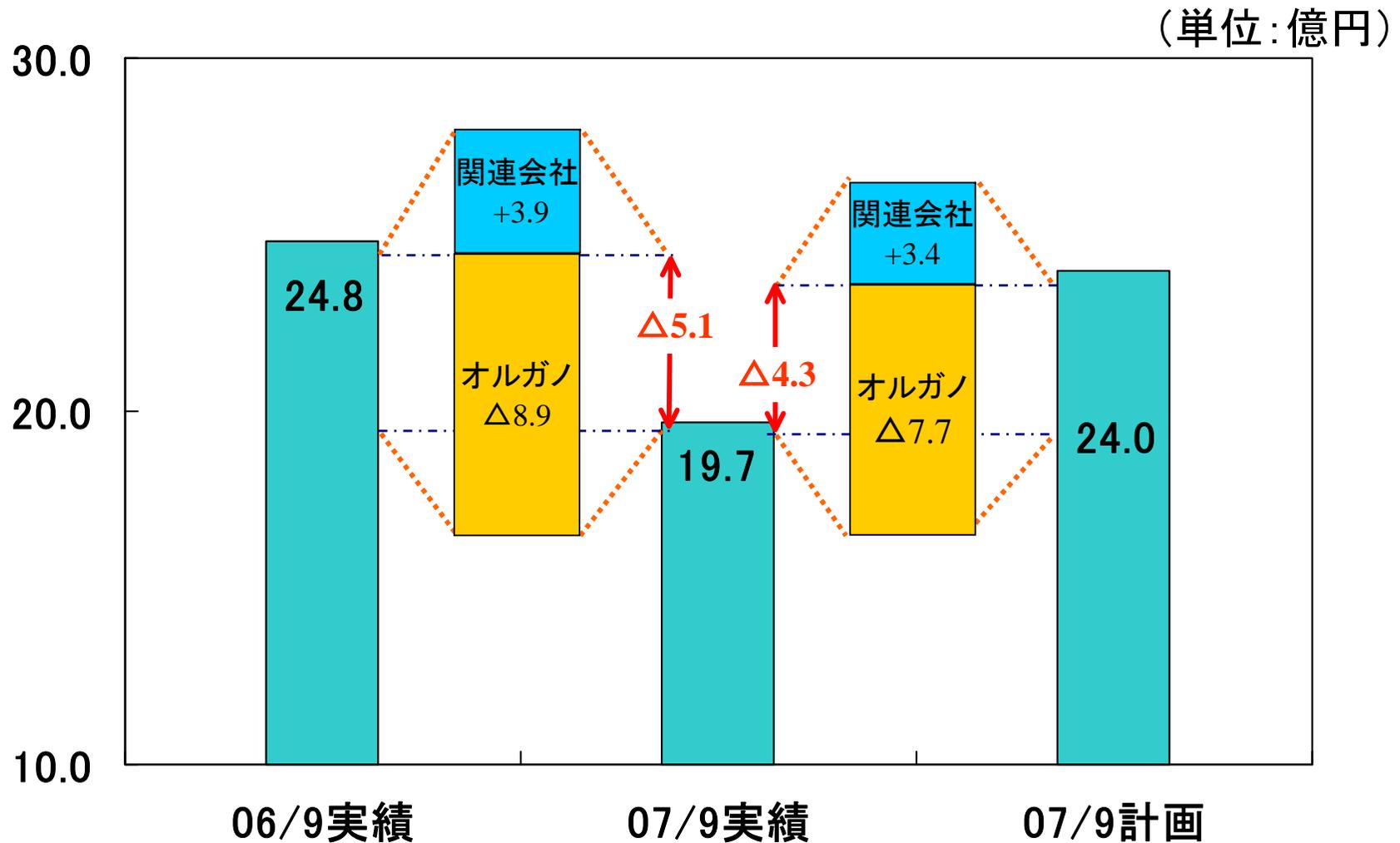


# 08年3月期中間／売上高分析(事業分野別)

(単位:億円)

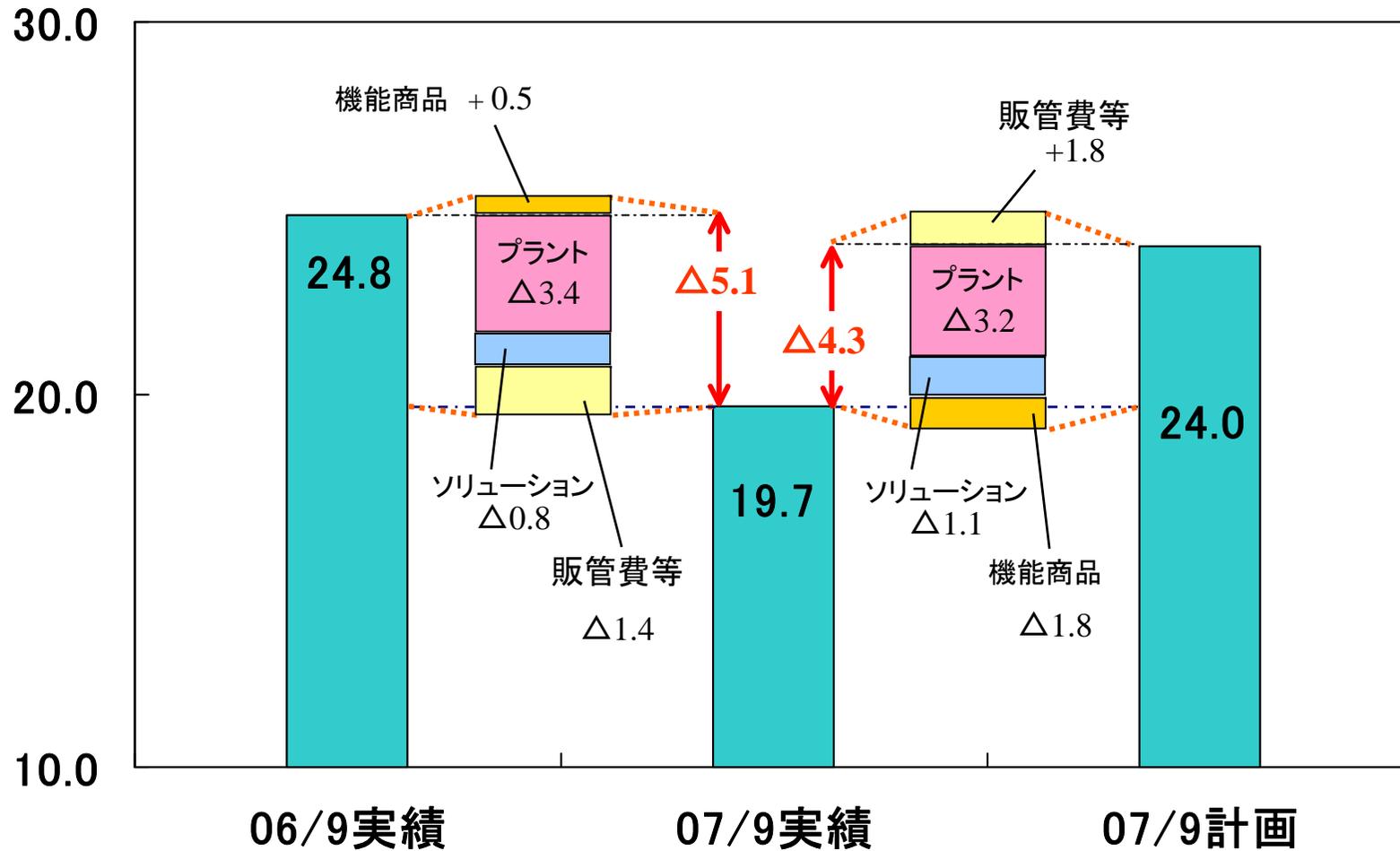


## 08年3月期中間／経常利益分析(会社別)



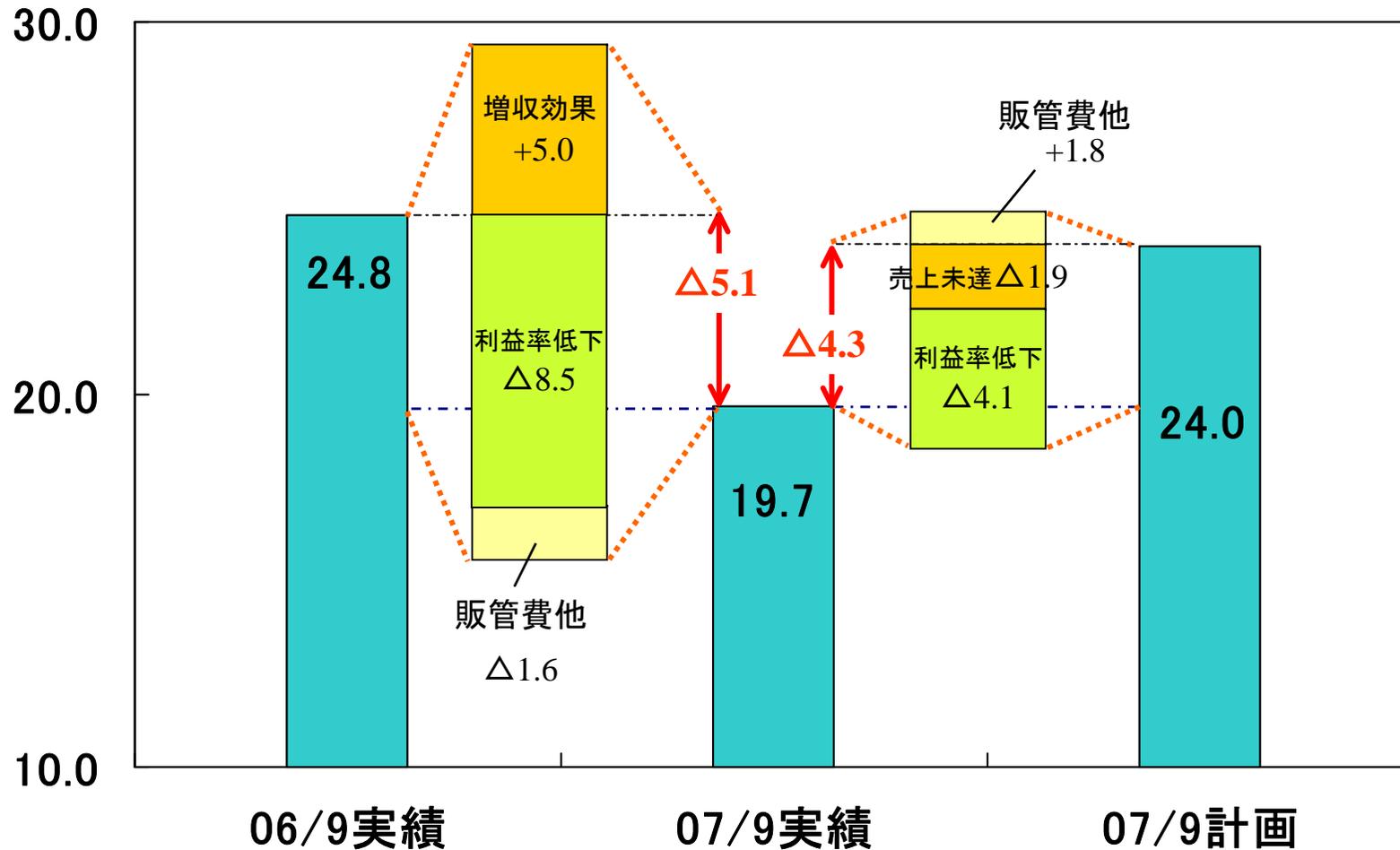
# 08年3月期中間／経常利益分析(事業分野別)

(単位:億円)



## 08年3月期中間／經常利益分析(要因別)

(単位:億円)



## 2008年3月期通期《概況》

---

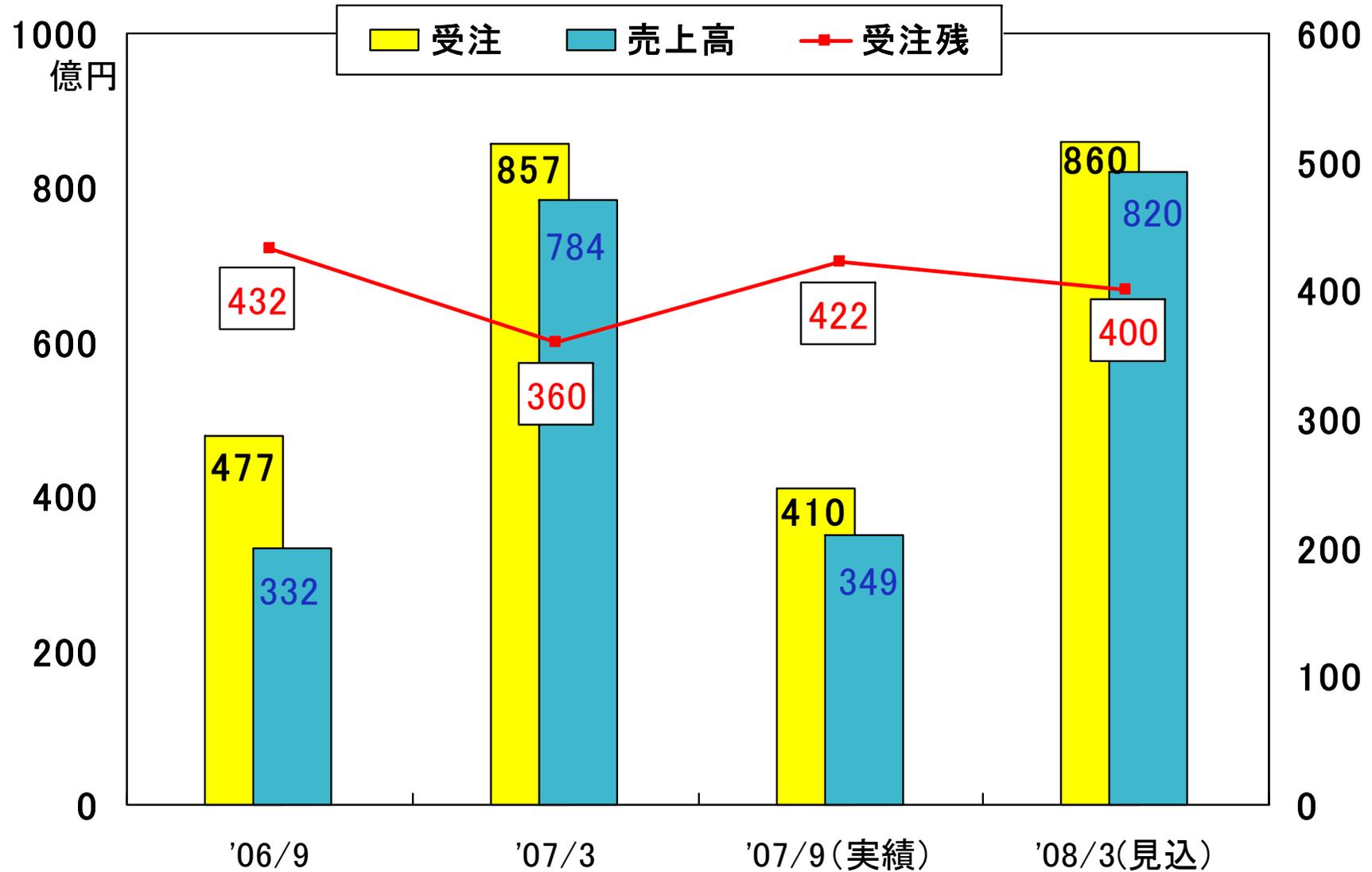
- ◎設備投資動向は、堅調な推移を期待
- ◎電子産業・一般産業中心にプラント部門の受注回復見込むが、売上は端境期に
- ◎ソリューション事業のさらなる掘起しに注力
- ◎機能水、中型水処理装置の拡販
- ◎プラント部門中心にコストダウンを徹底

## 2008年3月期通期／決算見込

(単位:億円)

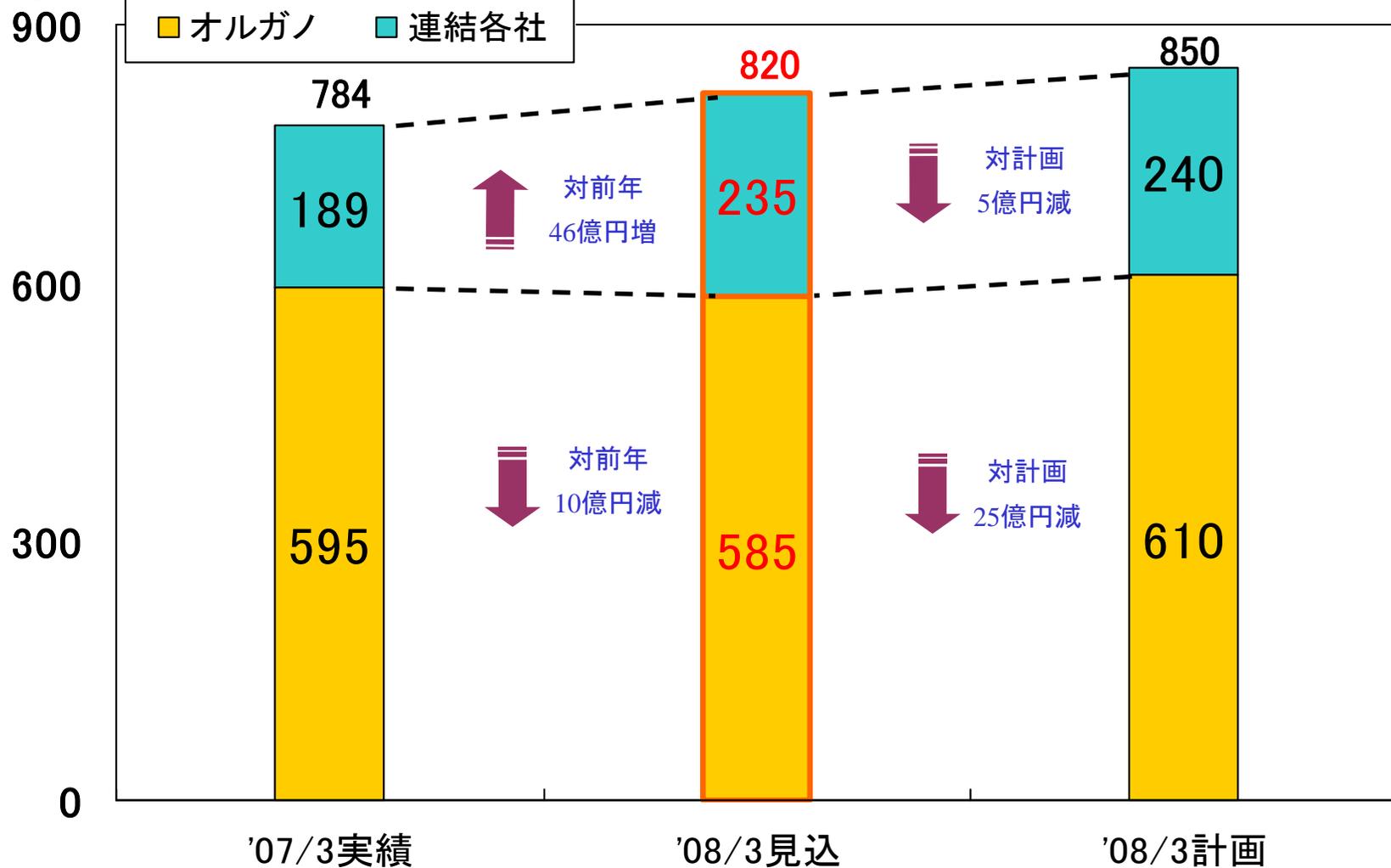
	07.3	08.3		前期比	計画比
	実績	計画	通期見込		
受注高	857	822	860	+ 3	+ 38
売上高	784	850	820	+ 36	△ 30
売上総利益 (%)	216	225	210	△ 6	△ 15
	27.6%	26.5%	25.6%	-2.0%	-0.9%
販管費	141	145	145	△ 4	±0
営業利益	75	80	65	△ 10	△ 15
経常利益 (%)	74	79	64	△ 10	△ 15
	9.5%	9.3%	7.8%	-1.7%	-1.5%
当期純利益	44	44	39	△ 5	△ 5

## 受注高・売上高・受注残高推移(連結)

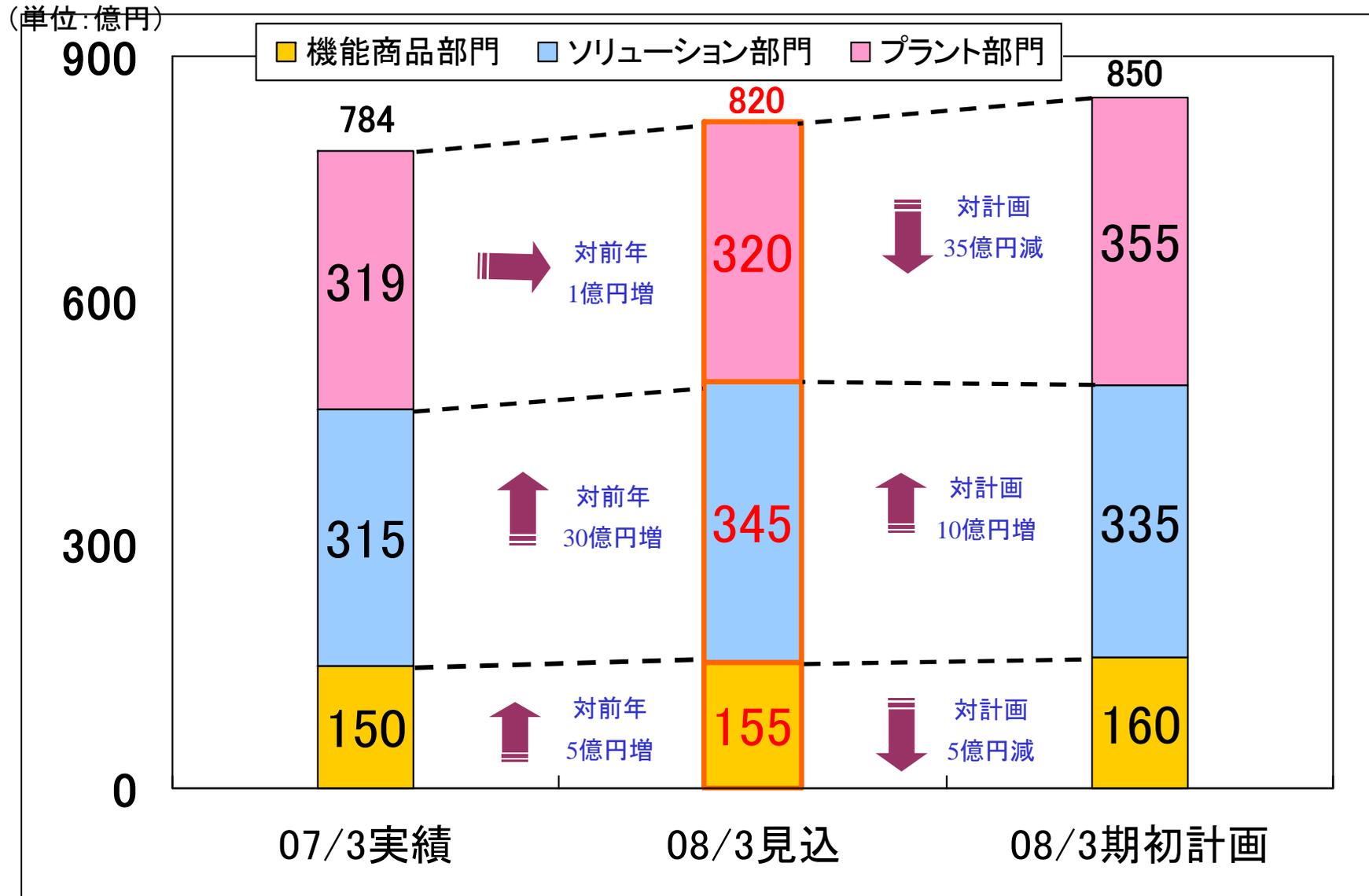


## 08年3月期通期／売上高分析(会社別)

(単位:億円)

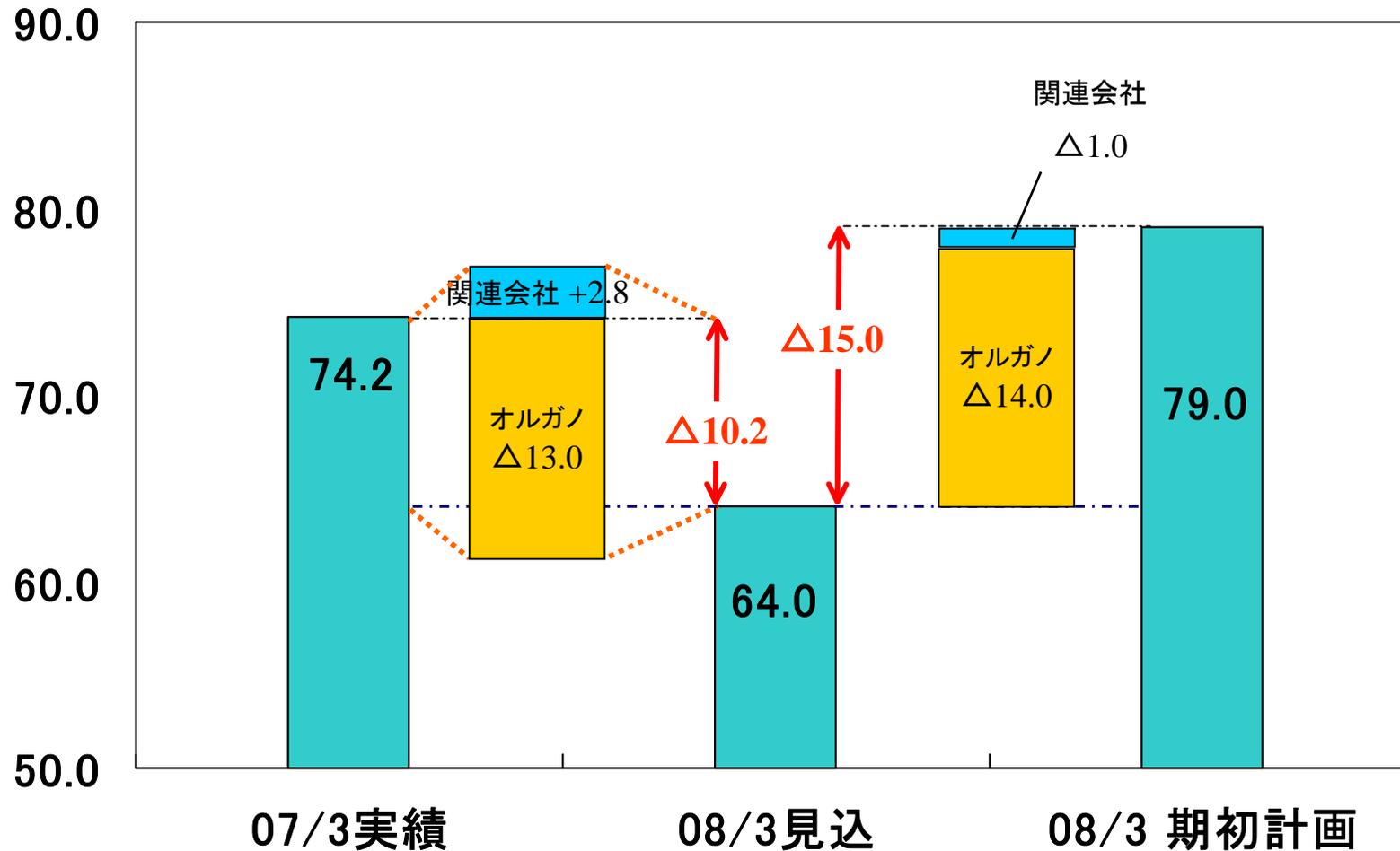


# 08年3月期通期／売上高分析(事業分野別)



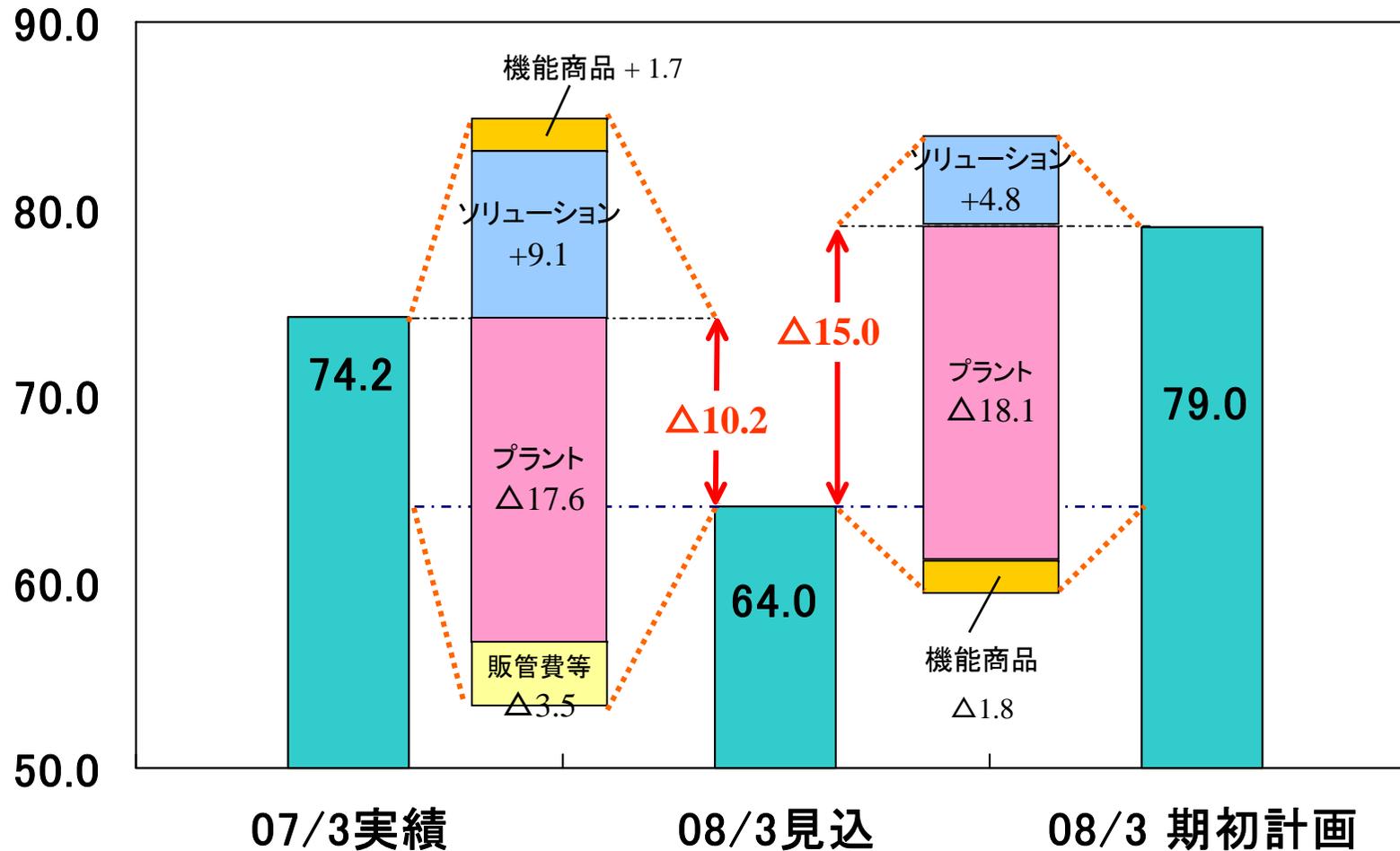
# 08年3月期通期／経常利益分析(会社別)

(単位:億円)



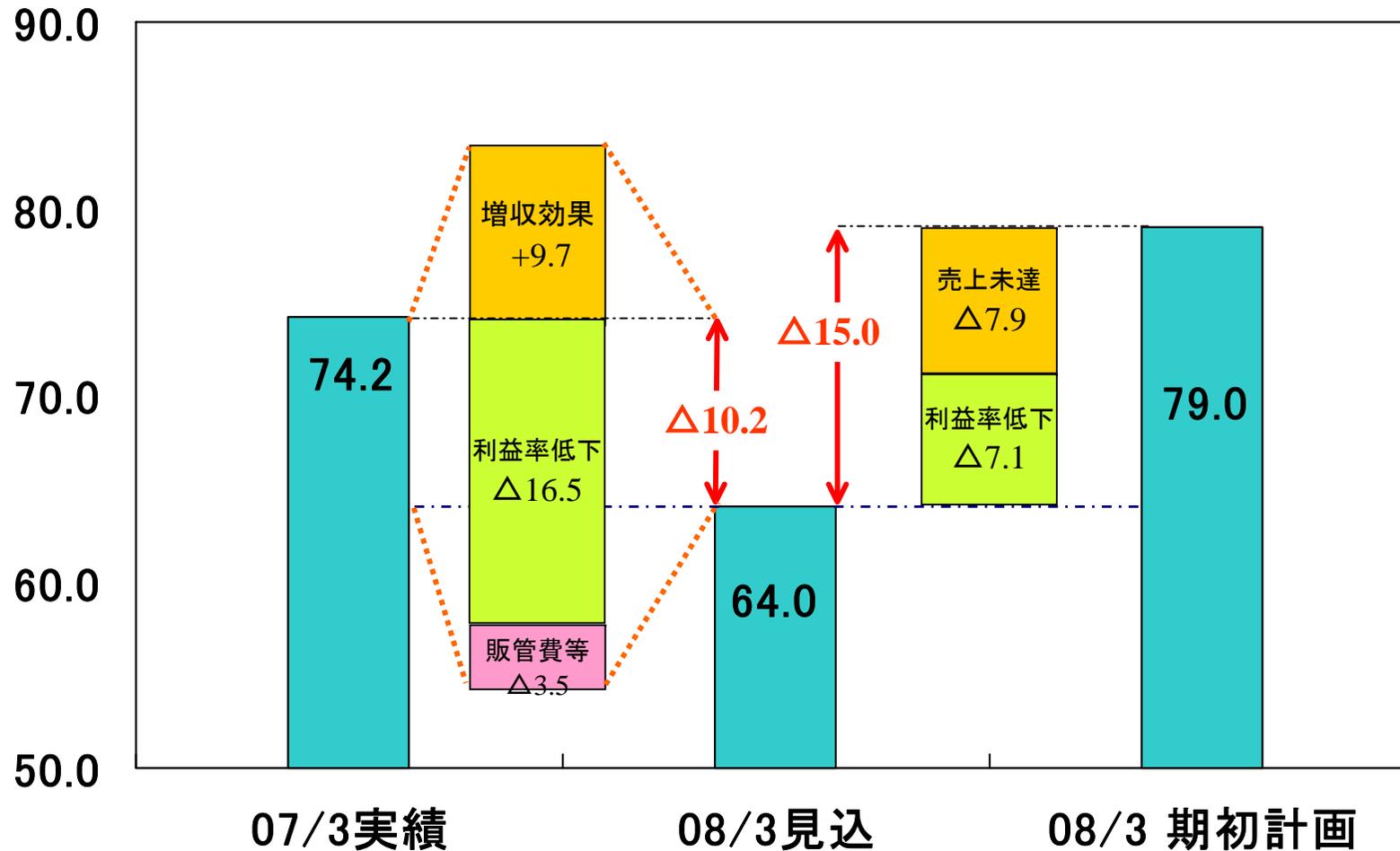
# 08年3月期通期／經常利益分析(事業別)

(単位:億円)



## 08年3月期通期／經常利益分析(要因別)

(単位:億円)



## 要約連結貸借対照表

(単位：億円)

資産の部				負債の部			
	06.9	07.9	差		06.9	07.9	差
<b>流動資産</b>				<b>流動負債</b>			
現金・預金	50	58	+ 7	支払手形・買掛金	174	176	+ 2
受取手形・売掛金	312	330	+ 18	短期借入金	88	96	+ 8
棚卸資産	88	86	△ 2	その他	53	62	+ 9
その他	34	24	△ 10	<b>流動負債計</b>	<b>315</b>	<b>334</b>	<b>+ 19</b>
<b>流動資産計</b>	<b>485</b>	<b>498</b>	<b>+ 13</b>	<b>固定負債</b>			
<b>固定資産</b>				長期借入金	44	31	△ 12
建物及び構築物	77	78	+ 2	その他	49	46	△ 3
機械装置及び運搬具	10	27	+ 17	<b>固定負債計</b>	<b>93</b>	<b>77</b>	<b>△ 15</b>
土地	123	123	+ 0	<b>負債計</b>	<b>408</b>	<b>411</b>	<b>+ 3</b>
建設仮勘定	0	5	+ 4	<b>純資産の部</b>			
投資等	52	51	△ 1	資本金	82	82	-
その他	14	14	+ 0	剰余金等	268	299	+ 31
<b>固定資産計</b>	<b>276</b>	<b>298</b>	<b>+ 21</b>	少数株主持分	3	4	+ 1
<b>資産合計</b>	<b>761</b>	<b>796</b>	<b>+ 35</b>	<b>純資産計</b>	<b>353</b>	<b>385</b>	<b>+ 31</b>
				<b>負債・資本合計</b>	<b>761</b>	<b>796</b>	<b>+ 35</b>

## 主な指標

(単位: 億円)

	2007年9月期	2008年3月期(計画)
設備投資	22	59
技術研究費	9	20
減価償却費	6	11
有利子負債	128	146
従業員数(人)	1,636	1,610
中間配当・年間配当(円)	6.0	12.0

本日はご出席頂きまして  
誠にありがとうございました。

(お問合せ先)  
オルガノ株式会社  
〒136-8631 東京都江東区新砂1-2-8  
経営企画部経営企画グループ  
TEL 03-5635-5111  
FAX 03-3699-7240  
URL <http://www.organo.co.jp>

本資料には現時点における経営陣の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。リスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。